

第49回全国トラックドライバー・コンテスト 実施要綱

1. 目的

事業用トラックドライバーに求められる高度な運転技能と、関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを持たせ、業界を挙げた安全意識の高揚と交通事故防止活動の推進に資する。

2. 主催

公益社団法人全日本トラック協会

3. 後援(予定)

内閣府、国土交通省、警察庁、自動車安全運転センター、
一般財団法人全日本交通安全協会、一般社団法人日本自動車整備振興会連合会

4. 協賛(予定)

株式会社ブリヂストン、損害保険ジャパン日本興亜株式会社

5. 協力(予定)

日野自動車株式会社、いすゞ自動車株式会社、三菱ふそうトラック・バス株式会社、日本フルーフ株式会社、日産自動車株式会社、トヨタ自動車株式会社、UDトラックス株式会社 (ABC順)

6. 日程及び会場

- (1) 平成29年10月21日(土) … 実科競技1日目、学科競技
- (2) 平成29年10月22日(日) … 実科競技2日目
自動車安全運転センター 安全運転中央研修所 (茨城県ひたちなか市)
…(1)、(2)共
- (3) 平成29年10月23日(月) … 表彰式
第一ホテル東京 (東京都港区)

7. 競技部門

4トン部門、11トン部門、トレーラ部門、女性部門の4部門とする。
競技に使用する車両は当日示すが、競技車両の車両クラスは、出場部門により以下の通りとする。

- (1) 4トン部門 … 最大積載量4トン車を使用

- (2) 11トン部門 … 最大積載量11トン車を使用
- (3) トレーラ部門 … トラクタ・トレーラを使用
- (4) 女性部門 … 最大積載量2トン車(ロングボディ)、最大積載量4トン車、最大積載量11トン車、トラクタ・トレーラから出場選手が事前に車両クラスを選択し使用

8. 出場資格

- (1) 各都道府県トラック協会長が選抜したトラックドライバーとし、年齢、性別(女性部門を除く)は問わない。なお、各都道府県トラック協会からの選抜枠は、各部門につき1名とする。
- (2) 各都道府県トラック協会の会員事業所に勤務する従業員で勤務成績が優秀であり、出場推薦日において過去3年間人身事故を起こしたことがなく、かつ、過去1年間無事故、無違反であること。
- (3) 過去に各部門(第33回までの一般部門の各クラスを含む)で優勝した者、総務庁長官賞又は内閣官房長官賞受賞者及び既に各部門を通じて2回出場している者は出場することができない。但し、第32回(平成12年度)以前にトレーラ又は女性部門に出場した回数はこれに含めない。
- (4) 重複して他部門に出場することはできない。
- (5) 女性部門を除き、同一事業者からの出場は各都道府県トラック協会ですら1名限りとする。
- (6) 無資格者並びに出場推薦日から競技当日までの間に事故を起こした者及び違反を犯した者の出場および入賞は取り消すものとする。

9. 表彰

(1) 選手表彰

- ① 内閣総理大臣賞〔全部門を通じて総合得点第1位〕
 - ② 国土交通大臣賞〔中小企業の出場者のうち、全部門を通じて総合得点第1位の者〕
 - ③ 警察庁長官賞〔各部門第1位〕
 - ④ 全日本トラック協会会長賞〔各部門第1位～第5位〕
 - ⑤ 全日本トラック協会会長特別賞〔シニア(50歳以上)の出場者のうち、全部門を通じて総合得点第1位の者〕
 - ⑥ 海外派遣賞〔各部門第1位〕
- ※②、⑤については、別に定めた運用方針に基づき実施する。

(2) 事業所表彰

- ① 国土交通大臣賞〔各部門第1位の受賞者が所属する事業所〕
- ② 全日本トラック協会会長賞〔各部門第1位～第5位の受賞者が所属する事業所〕

(3) 参加賞

- ① 出場選手に参加賞を進呈する。

10. 競技審査の概要

(1) 学科競技

安全な交通の方法等に関する必要な知識の会得状況について試験する。

- ① 試験方法：短答式

- ② 試験時間：60分
- ③ 試験内容：法規（道路交通法）、構造機能（車両）、運転常識（プロドライバーとしての一般的認識事項等）

(2) 実科競技（運転技能・点検）

安全・無事故運転を主体として、交通法規の遵守、基本操作技術、日常点検動作について審査する。

- ① 審査方法：実科競技採点表に基づき行う
- ② 競技時間：実施要領に明示する
- ③ 審査内容：審査の主眼は以下のとおり

ア. 運転操作及び法規履行

安全措置、発進、制動、走行、車体感覚、通行区分、進路変更、直進・右左折（巻き込み防止措置を含む。）、ハンドル操向、適切なシフトアップ、駐停車等。

イ. コース走行

高速周回路、幹線、模擬市街路のコース走行（発進、停止を含む。）、交差点通過（右折及び左折を含む。）、側方通過等。

ウ. 課題走行

隘路の通過、スラローム走行（前進・後退）、S字後退、車庫入れ（車両側方停止位置と側方板の距離確認・車両後方停止位置と指定された停止位置の距離確認）

エ. 運転態度

事故防止を規範とした真摯な安全運転姿勢、歩行者保護

オ. エコドライブ

省エネ運転に配慮した運転

カ. 日常点検

日常点検基準における点検動作

(3) 競技の配点及び順位の決定方法

- ① 配点 1,000点満点
 - ア. 学科競技…法規 200点、構造機能 100点、運転常識 100点
 - イ. 実科競技…運転技能・点検 600点
- ② 順位決定方法
総合得点の上位順とし、同点の場合は次による。
 - ア. 過去5年間免許歴を有し、かつ、過去5年間無事故、無違反の者とする。
 - イ. 運転技能の得点の高い者とする。
 - ウ. すべてが同点の場合には、高年齢者（同年齢者の場合は誕生日が先の者）とする。

11. その他

(1) 競技運営に係る統一基準

コンテスト期間中（平成29年10月21日(土)～23日(月)）は、全日本トラック協会が定める統一ゼッケンを着用すること。

- (2) 大会3日目に開催される表彰式に、特段の理由なく欠席した選手は途中棄権とみなし、当該選手に対する選手表彰及び事業所表彰等は全て取り消すものとする。